

各市町の研究活動状況等調査票

I 市町の研究活動状況 【 安城市 】

1 活動の概要について

研究組織の名称	安城市教育研究会学校事務部
組織の構成員	校長 1 名 市内事務職員
開催回数	部会：年 3 回 小委員会：年 8 回
活動方法（ここ数年の）	研究テーマに沿って、財務研究、文書管理研究、共同実施研究、効率化推進研究の 4 つのグループで研究を進めてきた。今年度は共同実施研究を情報管理研究に変え進めていく。研修会を 6 月と 8 月の年 2 回行っている。また、1 年間の「研究のまとめ」を作成している。

2 昨年度の活動について

(1) 研究テーマ

教育環境の向上を支援する学校事務

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①	財務研究
テーマ設定理由	事務職員の経験年数等に関わらず、効率化・標準化した会計事務が行えるような仕組みの整備を目指す。
方 法	「学費振替事務の手引き」を改訂する。
年間の成果	インターネットバンキングの操作手順を作成し、手引きに追加をした。また、既存の内容についても見直しを行い、記載例や注意事項などの加除修正を行った。
今後の課題	今後も状況は変化していくと考えられるため、引き続き改訂作業を行う。

研究グループのテーマ②	文書管理研究
テーマ設定理由	安城市立学校文書管理要綱に基づいて、各校で正しい文書管理が行われるようにする。正しい文書管理により、文書処理の効率化を図る。

方 法	各校の意見を集約し、学校文書分類表を更新する。文書主任として経験の浅い事務職員を対象に研修を行う。
年間の成果	学校文書分類表の改訂の検討結果を教育委員会総務課に提出した。また、研修の結果、経験の浅い事務職員は文書管理の知識と理解を深めた。講師を務めた事務職員は指導のあり方を身につけた。
今後の課題	文書管理を円滑に進めていくために、学校文書分類表の更新を行う。文書主任としての役割を担うことができるよう、経験の浅い事務職員に対する研修の充実と文書管理の標準化を図る。

研究グループのテーマ③	共同実施研究
テーマ設定理由	業務の効率化、標準化に繋がる無理のない共同実施体制を整える。共同実施により業務を効率化し、教職員の負担を軽減する。
方 法	共同学校事務室に関する要綱等の案を作成し、試行、改善方法の検討を行う。
年間の成果	共同学校事務室に関する規定を整備し体制を整えるため、安城市立学校管理規則と安城市立小中学校事務共同学校事務室設置要綱の改正案を作成した。また、C4th 書庫にある共同学校事務室フォルダの活用方法を検討した。
今後の課題	C4th 書庫の活用については、共同学校事務室フォルダを実際使用し、改善点や学校事務データベースとの使い分け等を検討していく。

研究グループのテーマ④	効率化推進研究
テーマ設定理由	安城市の学校事務の効率化・標準化を推進し、事務職員がより質の高い学校事務を広範囲に担えるようにする。
方 法	効率化推進として、学校事務データベースの更新と充実を図る。学校事務推進委員会で協議されている課題について引き続き研究し、現状分析や解決策を提案する。
年間の成果	グループで研究した学校事務を支援するための方策について検討した。学校事務推進委員会での協議題を提案し、関係機関・団体の理解を図った。
今後の課題	今後も学校事務全般の改善に向けて研究を進め、より具体的で説得力のある提案資料を作成する必要がある。また提案資料は推進委員会の目指す方向に合致した資料を提示できるよう情報交換を密に行う。

3 今年度の活動について

(1) 研究テーマ

教育環境の向上を支援する学校事務

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①		財務研究
テーマ設定理由		事務職員の経験年数等に関わらず、効率化・標準化した会計事務ができるような仕組みの整備を目指す。
構想図の課題	今日的課題	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ① 財務運営 ② 情報管理 ③ 組織運営 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ④ 地域連携 ⑤ 教育活動支援 </div>
	経常的課題	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> Ⓐ 正確な事務処理 Ⓑ 事務改善 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> Ⓒ 能力開発 Ⓓ 職場研修の充実 </div>
方 法		手引きやマニュアル等の作成・改訂を行う。学費滞納家庭に対するマニュアル作成に重点をおく。

研究グループのテーマ②		文書管理研究
テーマ設定理由		安城市立学校文書管理要綱に基づいて、各校で正しい文書管理が行われるようにする。正しい文書管理が行われることによって、文書処理の効率化を図る。
構想図の課題	今日的課題	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ① 財務運営 ② 情報管理 ③ 組織運営 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ④ 地域連携 ⑤ 教育活動支援 </div>
	経常的課題	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> Ⓐ 正確な事務処理 Ⓑ 事務改善 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> Ⓒ 能力開発 Ⓓ 職場研修の充実 </div>
方 法		各校の意見を集約し、学校文書分類表を更新する。文書主任として経験の浅い事務職員を対象に研修を行う。

研究グループのテーマ③	情報管理研究						
テーマ設定理由	安城市の学校事務の効率化・標準化につながる仕組みを整えるようにする。						
構想図の課題	<table border="0"> <tr> <td>1 財務運営</td> <td>2 情報管理</td> <td>3 組織運営</td> </tr> <tr> <td>4 地域連携</td> <td>5 教育活動支援</td> <td></td> </tr> </table>	1 財務運営	2 情報管理	3 組織運営	4 地域連携	5 教育活動支援	
	1 財務運営	2 情報管理	3 組織運営				
4 地域連携	5 教育活動支援						
<table border="0"> <tr> <td>a 正確な事務処理</td> <td>b 事務改善</td> </tr> <tr> <td>c 能力開発</td> <td>d 職場研修の充実</td> </tr> </table>	a 正確な事務処理	b 事務改善	c 能力開発	d 職場研修の充実			
a 正確な事務処理	b 事務改善						
c 能力開発	d 職場研修の充実						
方 法	学校事務の実務的な課題を吸い上げ、課題を解決し効率化・標準化につながる情報の管理方法やツールを検討する。						

研究グループのテーマ④	効率化推進研究						
テーマ設定理由	安城市の学校事務の効率化・標準化を進めることにより、事務職員が質の高い学校事務を広範囲に担えるようにする。						
構想図の課題	<table border="0"> <tr> <td>1 財務運営</td> <td>2 情報管理</td> <td>3 組織運営</td> </tr> <tr> <td>4 地域連携</td> <td>5 教育活動支援</td> <td></td> </tr> </table>	1 財務運営	2 情報管理	3 組織運営	4 地域連携	5 教育活動支援	
	1 財務運営	2 情報管理	3 組織運営				
4 地域連携	5 教育活動支援						
<table border="0"> <tr> <td>a 正確な事務処理</td> <td>b 事務改善</td> </tr> <tr> <td>c 能力開発</td> <td>d 職場研修の充実</td> </tr> </table>	a 正確な事務処理	b 事務改善	c 能力開発	d 職場研修の充実			
a 正確な事務処理	b 事務改善						
c 能力開発	d 職場研修の充実						
方 法	校内だけでは解決困難な課題について、現状分析や解決策を学校事務推進委員会に提案することで、推進委員会が充実した成果を出す手助けをする。						

4 研究組織と市町教育委員会との連携

研究内容に応じて、市教委の指導・助言をいただく。内容によっては学校事務推進委員会の協議題に挙げ、改善を図る。

5 研究組織外での活動について（特に記入することがあれば）

市教委主催の共同実施ブロック会において、業務・研修を行う。
共同実施ブロック長が推薦した者が他県の研究大会等に参加する。

6 各市町において、事務職員(全員または一部)が参加した会議及び研修会について

平成30年度		令和元年度	
名 称	学校事務職員連絡会	実施の有無	○ 有 無
主 催	安城市教育委員会		
参加者(対象者)	市内事務職員	実施内容	(予定) 給与事務連絡、手引き等の更新
実施回数	年13回		
実施内容	給与事務連絡会、手引き等の更新		

平成30年度		令和元年度	
名 称	共同実施ブロック会	実施の有無	○ 有 無
主 催	安城市教育委員会		
参加者(対象者)	市内事務職員	実施内容	(予定) 共同実施(諸手当認定、 諸帳簿点検、事務改善、 研修)
実施回数	年14回		
実施内容	共同実施(諸帳簿点検、事務改善、研修)		

平成30年度		令和元年度	
名 称	学校事務職員研修	実施の有無	○ 有 無
主 催	安城市教育委員会		
参加者(対象者)	市内事務職員、希望する教頭	実施内容	(予定) 未定
実施回数	年1回		
実施内容	これから求められる校務運営への参画について		

平成30年度		令和元年度	
名 称	学校事務職員新規採用者等研修	実施の有無	有 無
主 催	安城市教育委員会		
参加者(対象者)	新規採用者、経験3年目までの者、他市からの転入者	実施内容	(予定) ・ 接遇、健康管理 ・ 子ども理解について ・ 保健安全 ・ 文書(情報)管理事務、個人情報保護、市会計予算執行事務 ・ 人事任用、服務
実施回数	年5回(接遇と保健安全は教員の初任者研修に、子ども理解は教職基礎研修に新規採用事務職員のみ参加)		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇 ・ 子ども理解、生徒指導について ・ 保健安全 アナフィラキシーショックへの対応 ・ 文書(情報)管理事務、個人情報保護、市会計予算執行事務 ・ 転出入、補助金、委託料事務 		

平成30年度		令和元年度	
名 称	安教研学校事務部一斉研修会	実施の有無	有 無
主 催	安城市教育研究会学校事務部		
参加者(対象者)	安城市教育研究会会員	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践発表「校内会計事務の効率化・適正化を目指して」(安城北中) ・ 実践発表を受けてのグループ協議
実施回数	年1回		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の研究発表 ・ 意見交換 教育環境の向上を支援する学校事務 ― 共同実施を活かした事務改善について考える ―		

平成30年度		令和元年度	
名 称	安教研学校事務部夏季研修会	実施の有無	有 無
主 催	安城市教育研究会学校事務部		
参加者(対象者)	安城市教育研究会会員	実施内容	安城市の家計簿
実施回数	年1回		
実施内容	自分でできる防災対策		

平成30年度		令和元年度	
名 称	平成30年度配分予算説明会	実施の有無	有 無
主 催	安城市教育委員会		
参加者(対象者)	市内事務職員35名 校務主任29名 市教委担当者	実施内容	例年どおり
実施回数	年1回		
実施内容	平成30年度の安城市配分予算等についての説明		

平成30年度		令和元年度	
名 称	平成30年度教育講演会	実施の有無	有 無
主 催	安城市教育委員会 安城市教育研究会		
参加者(対象者)	市内教職員	実施内容	心を通わせるコミュニケーション
実施回数	年1回		
実施内容	金メダリストの思考回路		

令和元年度 新規に実施予定	
名 称	なし
主 催	
参加者(対象者)	
実施回数	
実施内容	